

# 利用制度の改正

*J A S R I* 利用推進部  
木村 滋

2022年 9月25日

## I. 趣 旨



## II. 利用制度改革の実施状況

## III. 長期間有効な利用課題の改正（2023A期から）

- （1）長期間有効な利用課題の改正 全体像
- （2）長期間有効な利用課題の改正 概要
- （3）長期間有効な利用課題の改正 実施方法

## 背景

### 利用者層の拡大

SPring-8の供用開始から25年

⇒ 当初の放射光利用の専門家から、産業界を含む幅広い層へと拡大

### 利用制度の複雑化

利用者層拡大による多様なニーズ

⇒ 新しい利用課題を次々と追加する形で拡充（当初2課題→26課題）

### 国の中間評価（2018年度）

利用制度に関する提言

⇒ 課題募集の時期や頻度の見直し、民間企業等の新規ユーザーの取込

## 趣 旨

◎ 国の中間評価の提言を踏まえつつ、利用者にとって使い易い利用制度

◎ 産学官の多様な利用者の積極的な利用を促し、社会に対する一層の貢献

## Ⅱ. 利用制度改革の実施状況

### 2022A 期から導入

#### 緊急課題の改正

⇒ 対象事項を拡大し「緊急・特別課題」に改称

#### 時期指定課題の改正

⇒ 「時間単位利用」の設定（テストユースなど）

#### 大学院生提案型課題の改正

⇒ 「長期型」の設定（博士後期課程の期間有効）

### 2022B 期から導入

#### 課題募集の頻度拡大

⇒ 「年6回募集」の拡大（3BL ⇒ 9BL）

#### 産業利用ビームラインⅠ・Ⅱ・Ⅲの運用変更

⇒ 「学術」のグループにも利用開放

# 年6回募集のBL、審査分野

JASRI

対象ビームライン	募集対象審査分野	
	第Ⅰ期	第Ⅱ期・第Ⅲ期
BL01B1	全ての審査分野	汎用XAFS・汎用MCD 産業利用
BL02B1		X線回折（単結晶） 産業利用
BL02B2		X線回折（粉末） 産業利用
BL09XU		光電子分光 産業利用
BL13XU		X線回折（粉末） X線回折（汎用・構造評価） 産業利用
BL47XU		産業利用 （かつ、イメージング装置利用のみ）
BL14B2	汎用XAFS・汎用MCD	産業利用
BL19B2	小角・広角散乱 X線回折（汎用・構造評価）	X線回折（粉末） 産業利用
BL46XU	光電子分光	産業利用



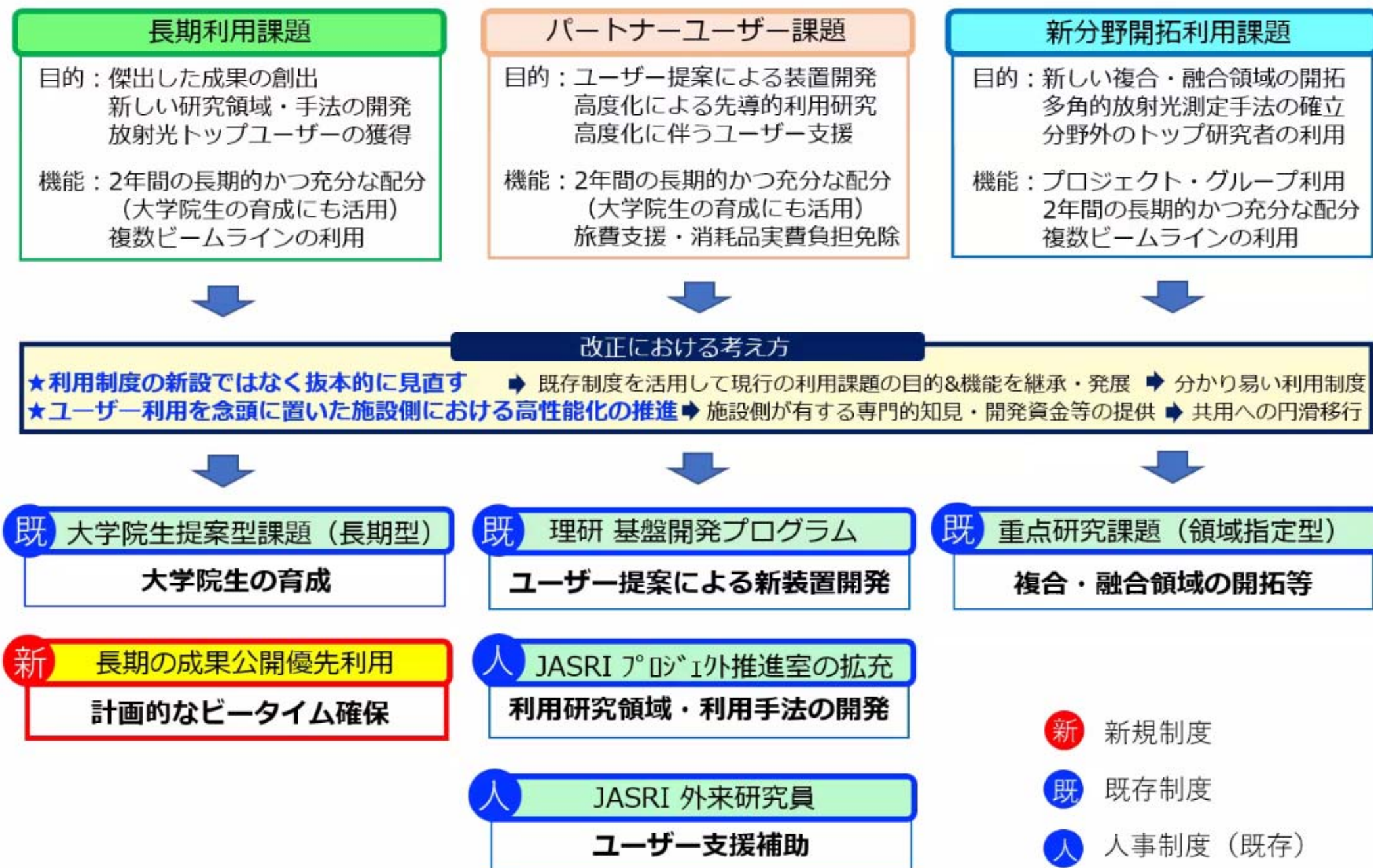
# 共用ビームラインの名称変更（2022年5月）JASRI

BL名	現行の名称	変更後の名称
BL01B1	XAFS	XAFS I
	XAFS	XAFS I
BL14B2	産業利用Ⅱ	XAFS Ⅱ
	Engineering Science Research Ⅱ	XAFS Ⅱ
BL13XU	表面界面構造解析	X線回折・散乱 I
	Surface and Interface Structures	X-ray Diffraction and Scattering I
BL19B2	産業利用Ⅰ	X線回折・散乱 Ⅱ
	Engineering Science Research I	X-ray Diffraction and Scattering Ⅱ
BL09XU	HAXPES	HAXPES I
	HAXPES	HAXPES I
BL46XU	産業利用Ⅲ	HAXPES Ⅱ
	Engineering Science Research Ⅲ	HAXPES Ⅱ
BL40B2	構造生物学Ⅱ	SAXS BM
	Structural Biology Ⅱ	SAXS BM
BL41XU	構造生物学Ⅰ	生体高分子結晶解析 I
	Structural Biology I	Macromolecular Crystallography I
BL45XU	構造生物学Ⅲ	生体高分子結晶解析 Ⅱ
	Structural Biology Ⅲ	Macromolecular Crystallography Ⅱ

# Ⅲ(1) 長期間有効な利用課題の改正

## 全体像

JASRI





## 1) 実施内容

### ◎ 成果公開優先利用課題の1年課題を設定

- ⇒既存の成果公開優先利用課題について、有効期間を1年とするカテゴリを設置
- ⇒成果専有利用を希望する場合は、事後（利用後60日以内）に成果専有利用への変更可

### ◎ 競争的研究資金の有無は問わない

- ⇒競争的研究資金を有する場合も申請可
- ⇒但し、「放射光共用施設の利用研究課題選定に関する基本的考え方」の定めに鑑みて、科学技術・イノベーション基本計画等、国の方針（政策）に則した研究を対象とする

### ◎ 定期募集（年2回/6回）の成果公開優先利用課題についても同様の運用

## 2) 実施方法

- ◎当面の間は年1回、一般課題に先立ち公募
- ◎配分ビームタイムは、1ビームライン（BL）あたり10～15%程度
- ◎ユーザーは、1年間の全体計画（複数BL利用を含）を親課題として申請

## 3) 実施時期

2023A期



# ビームタイム配分イメージ

JASRI

これまで

長期間有効な利用課題が複数実施されるビームラインの例



改正後

長期間有効な利用課題を有償1年課題に集約



- \* 有償1年課題は10%~15%を目安として各ビームラインの混雑状況を参考に、他の有償利用と合わせて調整
- \* 一般課題（青色）の枠には、大学院生提案型課題（長期型）、及び定期募集の成果専有課題、成果公開優先利用課題が入る可能性がある

# チームタイム配分の運用基準

JASRI

## 有償利用への配分上限：チームライン（BL）1本全体の 40% まで

- ・ ①有償1年課題、②成果専有課題、③成果公開優先利用課題の合算で 40% まで
- ・ 課題ごとの上限は設定しない（いずれかの課題種で 40% まで配分することも可）
- ・ 一般課題のためのチームタイムをBL1本全体の 1/3 以上 確保する運用は維持

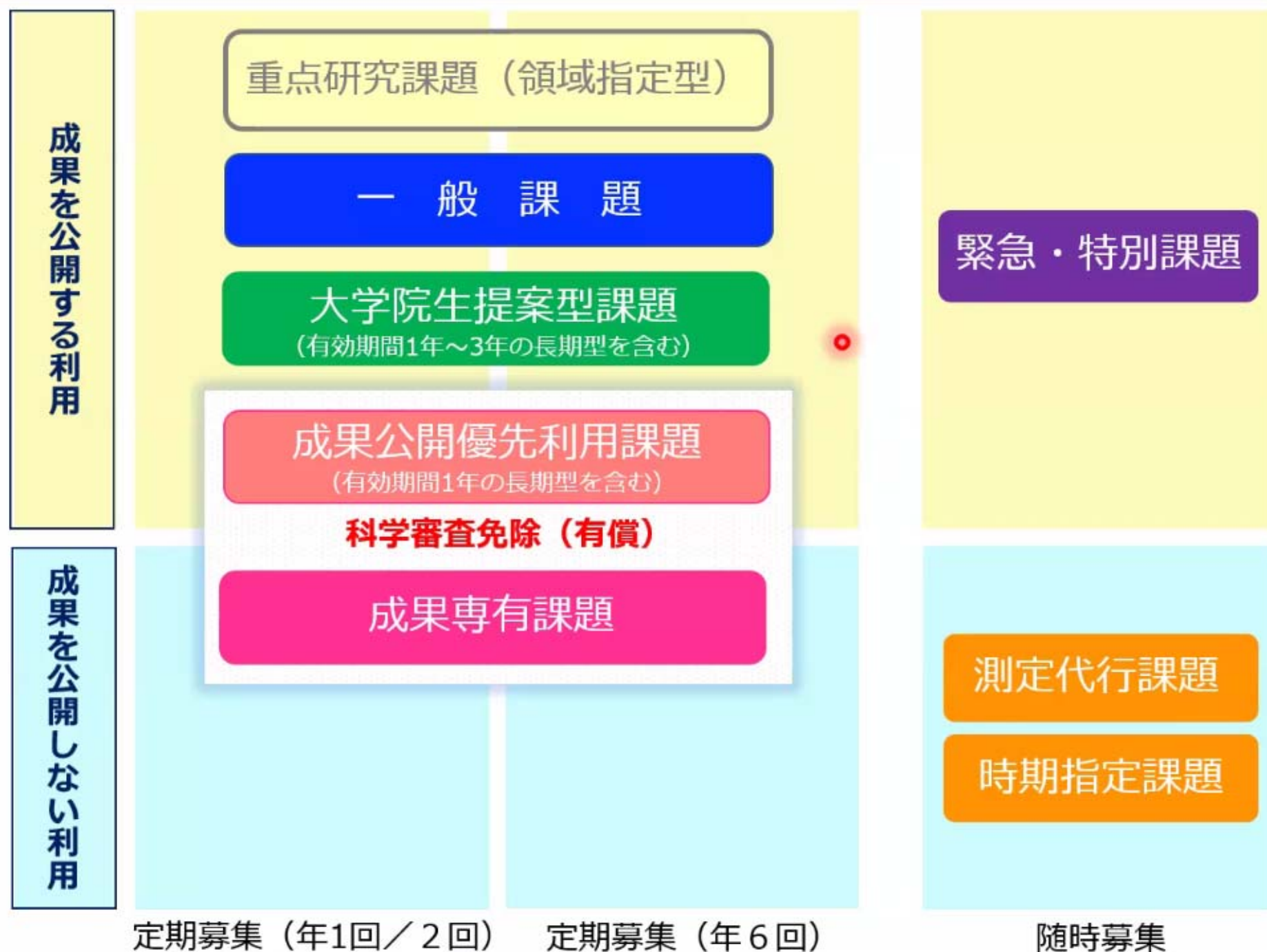


現行の課題種ごとの1 BLあたりの上限値\*

	成果専有利用	成果公開優先利用	優先利用合計
一般共用BL	16%	20%	36%
旧産業・構造生物BL	25%	20%	45%

上限値と実際のチームタイム配分割合は乖離している（次頁「チームタイム配分状況 2022 A期 課題採択時 共用チームライン」参照）

# 利用制度改正による課題種整理イメージ（2023A期以降） JASRI





ご質問、ご意見等は以下のポスターセッション  
でもお気軽にどうぞ！

**P-50：2022B期以降のSPring-8利用制度等の  
主な変更点**

**JASRI 利用推進部 共用推進課  
フロアー5**